

稲城市立図書館の管理運営に関する サウンディング型市場調査の実施結果及び市の方針について

1 個別対話の実施状況

実施日：令和6年9月25日、26日

参加者数：計4事業者

2 個別対話の実施結果

事前に市が個別対話のテーマとして挙げた項目についての主な意見は以下のとおり。
なお、事業者個々の知的財産である新たなサービス・アイデア等については掲載を差し控えさせていただきます。

(1) 稲城市立図書館全体の管理・運営に関して

① 管理手法について

- ・指定管理者制度の活用や、改修を伴う場合は、PFI方式(R0)などが考えられる。
- ・10年以上の長期の管理期間とすると昨今の人件費高騰などの影響により参入が難しくなる可能性がある

② 図書館システムについて

- ・市で調達したベンダーを使用することは可能である
- ・システムのクラウド化は稲城市の人口規模では費用が高額となる可能性がある

(2) 中央館の管理・運営に関して

① 中央館内喫茶について

- ・交流広場・中庭と連携した活用が期待できる (※)

② 中央館読書テラスについて

- ・各種イベントでの活用が期待できる (※)

③ その他の意見

- ・サービス内容の見直し(※)や学習スペースの拡充を行った方が良い
- (※) 事業者個々のサービス・アイデアを含むため具体的内容は掲載を控えております。

(3) 分館の管理・運営に関して

① 全般について

- ・学習スペース、閲覧席が少ないため、蔵書数を整理も含めたレイアウト変更を行うことが望ましい

3 サウンディングを受けての市の方針

サウンディングの結果を受け、次の各項目については、今後の管理・運営に反映する方針とする。また、これ以外の項目については今後検討していく。

□ 管理手法について

指定管理者制度を活用し、稲城市立図書館の中央館・分館の管理運営を行うこと

□ 室内環境の整備について

市立図書館全館で学習・閲覧スペースを拡大すること

□ 中央図書館の運営方針

『学校の枠にとらわれずに稲城の子どもたちが探求的な経験をできる学びの場所』として、城山体験学習館を含め施設全体を中央図書館として位置付け、図書館機能を拡張すること

□ 分館の運営方針

蔵書数・書架を整理し、学習・閲覧スペースを確保した施設とすること

4 今後のスケジュール（予定）

- ・ 令和7年4月上旬 管理基準書（仕様書）、募集要項の公開
- ・ 令和7年4月下旬 募集要項等に関する質問受付、募集締め切り
- ・ 令和7年5月中旬 書類審査
- ・ 令和7年6月頃 プレゼンテーション方式による事業者選考
- ・ 令和7年9月 第3回定例会上程（指定管理者の指定等）
- ・ 令和8年7月 次期指定管理者による運営開始